

## 変わり縁止め

\*あまり見ることもない縁止めです。今回は底組みが四つ目ですが、斜め左右に立ち上がるものであれば、どんなものにも利用できます。

### ・材料

\*幅 4mm 厚さ 0.4mm  
28本 長さ 42cm以上（長いほどいい）

\*幅 4mm 厚さ 0.5mm  
40本



節なし

節あり

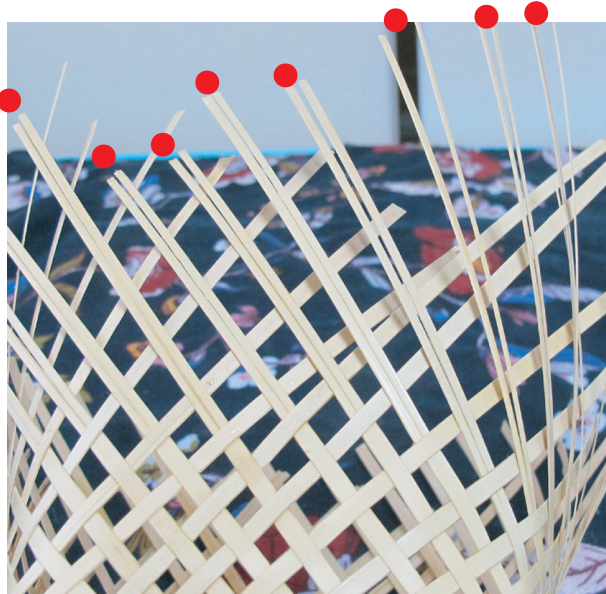
### ・作り方（写真は節なしの場合を例にしています）

底を四つ目で組み立ち上げ、6段あるいは7段組む。左斜め、あるいは右斜めに出た竹が、となりの二本の竹の後ろを通り前に出しても4cm以上余っているか確認。  
短い竹はここで足すか組む段数を減らす。



\*左は7段組んだところ

\*縁止めの方法を習得することが目的なので、組む段数や底組みの大きさなどは自由に。



\* 手前の、左斜め上になっている竹の、  
組んだところから上の部分を二枚割  
する。6段の場合は右斜め上になっ  
ている竹が手前になる。

\* 節ありの場合：13段組んで同じように  
二枚割する。



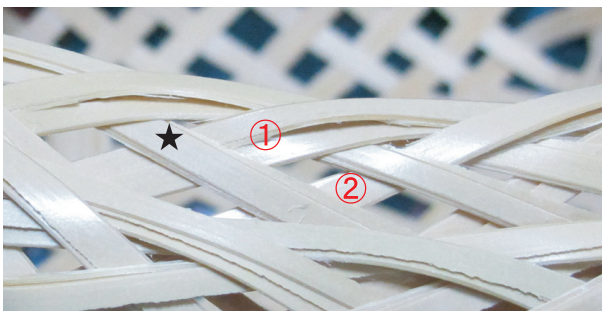
\* 左隣の竹二本の裏を通して前に出す。

\* 節ありの場合 \* 三本の裏を通して前  
に出す。



\* 一周したところ。





\* 二本越えて内側に入れる。内側の始末。長い竹はここで切っておく。

\* 節ありの場合：三本越えて内側に入れる。同様に余った竹を始末。

\* 右上がりの竹を二枚に割る。

\* 先ほどと同じように右隣の竹二本の裏を通り前に出す。

\* 節ありの場合：三本の裏を通り前に出す。

\* これも二本越えて内側に入れる。内側の始末。

\* 縁ありの場合：三本越えて内側に。内側の始末。